



平成29年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社 ユニバンス
代表者名 代表取締役社長 村松 通泰
(コード番号7254 東証第2部)
問合せ先 常務執行役員 曾布川守男
(TEL. 053-576-1311)

**業績予想値と実績値との差異及び特別利益(負ののれん発生益)並びに
特別損失(段階取得に係る差損)の計上に関するお知らせ**

当社は、平成30年3月期第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)の決算において、業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。また、特別利益(負ののれん発生益)及び特別損失(段階取得に係る差損)を計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 29,000	百万円 450	百万円 350	百万円 300	円 銭 14.36
今回実績(B)	29,445	302	201	448	21.50
増減額(B-A)	445	△147	△148	148	
増減率(%)	1.5	△32.7	△42.4	49.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	29,837	559	△876	△924	△44.28

<差異の理由>

営業利益および経常利益の減少は、主に日本拠点における新規製品にかかる立上り費用の増加および先行開発強化に伴う費用の発生によるものであります。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益(負ののれん発生益)および特別損失(段階取得に係る差損)によるものであります。

2. 特別利益(負ののれん発生益)および特別損失(段階取得に係る差損)の計上

当社は、平成29年7月25日に株式会社富士部品製作所の株式を追加取得し、同社を連結子会社としました。これに伴い、特別利益として負ののれん発生益384百万円、特別損失として段階取得に係る差損98百万円をそれぞれ計上いたしました。

以上